



一斉防災訓練をふりかえって



問 安心安全課 ☎56-0611 (記事ID 10357) [HPを見る](#)

長久手小学校

長湫地区長久手小学校区 たなか とおる 田中 徹 会長
自治会連合会

今回は訓練だったのであらかじめ予告がありましたが、自然災害はいつやってくるかは分かりません。私達の住む地域では大きな地震や災害等を経験していませんが、市内一斉防災訓練を通じて地震の危険性を再認識し、実際に地震が発生したら自分はどう行動するのかについて、ご家庭でよく話し合ってください。また、訓練内容や皆様からいただいたご意見を検証し、今後の防災訓練や防災活動に活かしていきます。



身体障害者福祉協会
による車いす体験

西小学校

西小学校区 よしだ みつぎ 吉田 貢 会長
まちづくり協議会

緑化事業協力会
による倒木対応訓練

西小学校区の防災訓練をふり返って今後の訓練内容を実際の災害時に役立つ訓練内容に変更する必要があると思います。まずは、校区内の要支援者380名に9名の民生委員、1人42名の安否確認を行うことは難しく、補助員がそれぞれの地区に5名以上が必要です。また、火災における初期消火のため、40mm消火栓の取り扱いができる人を組織化する等、他の災害に対して住民で一丸となって対応できるようにすることが、今後必要になってくるのではないかと考えています。



大垣共立銀行に
よるレスキュー車
の展示



東小学校

北熊区 こんどう かずみつ 近藤 和光 区長

平成29年度長久手市市内一斉防災訓練に参加して、長久手市は、海や大きな河川もなく大災害が起こりにくい立地ですが、過去の大地震から70年余り経っている事を思えば、当地にも今までに経験した事がない程の大地震が、いつきても、おかしくないと思われます。

今年の東小学校区の一般参加は非常に少なく、大勢の住民の方に参加して頂く工夫がもっと必要ではないかと思いました。

栄徳高等学校に
よる防災クイズ



危険物安全協会
による危険物
事故対策

参加団体からのコメント

■ 愛知県立大学外国語学部国際関係学科 みやたに あつみ 宮谷 敦美 教授

長久手小学校と南小学校で「多文化共生と防災」をテーマに、外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」の紹介をしました。避難所にはいろんな人がやってきます。いざという時のために、「やさしい日本語」をぜひ実践してください。外国人住民だけでなく、子どもやお年寄りにもわかりやすいコミュニケーション手段です。訓練では地域の皆さんとの交流から多くを学ぶことができました。